

新・板橋区環境マネジメントシステムの概要

新たな環境マネジメントシステムの趣旨

ゼロカーボンいたばし2050の実現に向け、ISO14001で培った知識・経験を活かし、組織のビジョンに即した区独自の環境マネジメントシステムを構築します。新システムでは、環境改善活動、特に脱炭素の取組を戦略的に強化し、区長及び管理職のリーダーシップのもと、全職員の意識・意欲に根差した行動変容を促進する、実効性ある環境マネジメントシステムをめざします。

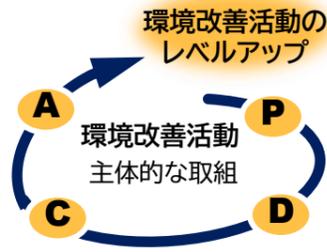
新たな環境マネジメントシステムのポイント

- ① 環境改善活動を積極的に推進するシステムへの転換
- ② 組織全体で環境改善活動を継続的に実施するための体制強化
- ③ 体系的評価(PDCAサイクル)と成果の見える化による客観性・透明性の確保
- ④ 職員の意識・意欲に根差した行動変容を促進

新たな環境マネジメントシステムの概要

項目	方向性	内容
1 運用方法	継続	・PDCAサイクルにより運用します。
2 文書・記録	改善	・マニュアル1種、ハンドブック3種（①省エネ・省資源、②公共施設等における環境配慮、③環境法令）に簡略化します。
3 適用範囲	継続	・指定管理施設を含む全ての区施設を対象とします。
4 推進体制	新規	・実務担当かつ環境改善活動の牽引役として「環境アンバサダー」を設置します。
5 脱炭素推進	改善	・【ZEB:区施設のゼロエミッション化】 区施設のZEB化を、施設整備における環境配慮の中核として位置づけ、導入基準に基づき推進していくことで、ゼロエミッション化をめざします。 ・環境マネジメントシステムを通じて、随時収集されるエネルギーデータを利活用することで、各課・施設における効果的な省エネ・節電行動を促進します。
	新規	・【EMS目標達成シート/エコレポート】 各課・施設が主体的かつ継続的に環境改善活動を実践できるよう、新たな取組(EMS目標達成シート/エコレポート)を導入します。
6 環境法令	改善	・各課・施設での環境法令遵守を原則としつつ、事務局による支援体制を強化します。
7 環境教育	改善	・組織のビジョンに即した環境教育を実施します。 (全職員、環境法令順守、PDCAをグリップする人材(管理職等))
8 環境監査	改善	・内部環境監査を「環境行動モニタリング」と改め、組織全体の参考となるベストプラクティスを発掘し、横展開する仕組みへ改善します。
9 外部評価	新規	・外部専門家の助言・評価を受け、実効性向上と継続的改善に活かします。 (3年ごとを基本)
10 活動評価	継続	・「エコポリス板橋」推進本部において、活動成果を評価し、継続的改善につなげていきます。
11 情報公開	改善	・各課・施設における活動成果を環境白書等に掲載し、公表します。

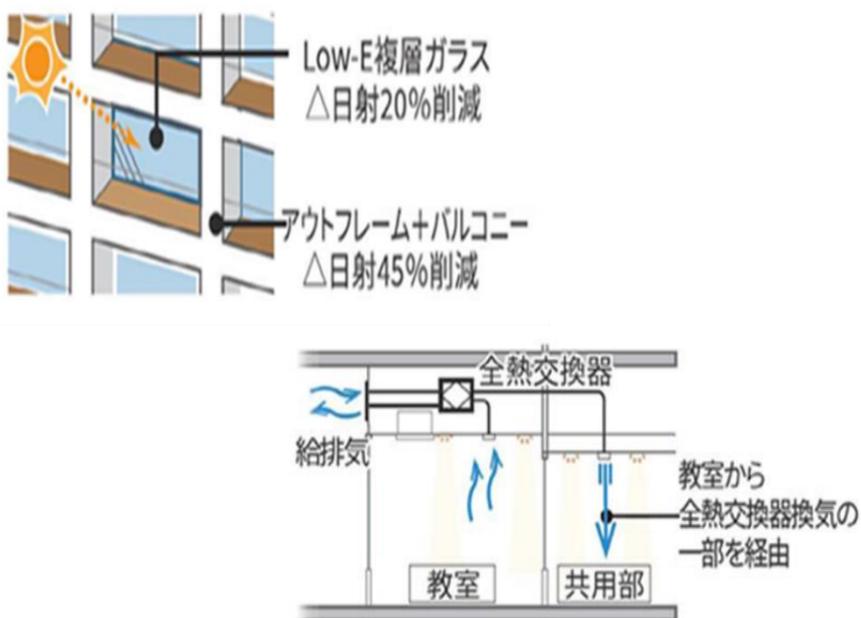
新たな環境マネジメントシステムにおける主な変更点

<p>しくみの改善</p> <p>環境改善活動をシステムの中核として位置づけ、法令遵守に加え、事務事業編と連動した脱炭素を積極的に推進するしくみとすることで、住民サービスの向上と環境貢献を実現します。</p> <p>※ 環境改善活動は、ZEBをはじめとした区施設のゼロエミッション化、エネルギー管理(エネルギーマネジメント)や廃棄物削減、環境教育等の活動において、環境課題に取り組み、実質的な改善へとつなげるものです。</p>	 <p>ZEB (Net Zero Energy Building) “ゼロ・エネルギーの時代へ”</p> <p>例</p>
<p>環境監査 (環境行動モニタリング)</p> <p>区全体(各課・施設)の取組を把握・分析します。各課・施設のベンチマークに資する環境改善活動(ベストプラクティス)を発掘し、組織全体に展開し、区的环境パフォーマンスを高めていきます。これを支える体制として、事務局(資源環境部)が環境行動モニタリングを一元管理します。</p>	
<p>システムの客観性・透明性</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① PDCAサイクル(計画→実行→評価→改善)を強化し、数値目標を含む定量的な基準により客観性を維持しつつ、区の実情に即した評価手法を組み入れます。 ② 外部専門家による運用体制に対するアドバイザーを導入します。 ③ 活動内容や取組成果を庁内外へ発信、透明性の高い運用を実現します。
<p>体制強化</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① 環境改善活動のPDCAサイクルを円滑に回していくために、事務局(資源環境部)を中心に、全体のグリップ機能を高めます。 ② 各部署に「環境アンバサダー」を設置し、所属の環境改善活動を牽引します。 ③ 各課・施設が主体的に環境改善活動を推進できる仕組みを構築します。各課・施設は目標と取組を設定し、継続的改善を行うとともに、事務局は、成果と環境負荷をモニタリングし、その結果を庁内で共有します。
<p>文書管理</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① 職員が使いやすいシンプルな文書体系で、主体的な環境改善活動を支援します。 ② 文書の重複・分散を整理し、作業負担を軽減、検索効率を向上させます。 
<p>環境関連法令</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① 環境法令遵守のため、支援体制とチェック機能を強化します。 ② 環境法令遵守に必要な実務研修を実施します。

区施設のゼロエミッション化 (ZEB/ZEH) **強化・拡充**

環境マネジメントシステムによる 区施設のZEB化推進

- ・ZEB化を施設整備における環境配慮の中核として位置づけ、導入基準に基づき推進することで、環境性能と快適性に配慮した施設整備を実現します。
- ・ZEB施設の運用データや省エネ手法を環境マネジメントシステムを通じて蓄積・分析し、横展開する。



上板橋第一中学校(ZEB Ready)
令和9年3月新校舎完成予定

持続可能な施設管理と脱炭素社会の推進

エネルギーの最適化により、経済効果と環境負荷軽減、快適性向上と防災力強化を同時に実現し、その知見や成果が地域全体へ波及することで、区域の脱炭素化を推進する。

区施設のエネルギーマネジメント (電気・ガス) **強化・拡充**

エネルギー使用量の見える化

- ・エネルギーデータをリアルタイムで収集し、目にとまりやすい昇降口などで、現在値・時間・日・月別のスライドショー形式で見える化を行う。
- ・環境性能が高いディスプレイを採用するなど、環境に配慮した取組として進めていく。



職員・児童・生徒が、エネルギー使用実態を理解し、自らの行動を見直し、省エネ意識を高める

R6年度に5校設置し、計16校に設置済。
太陽光発電設備、受変電設備改修時に順次設置していく。

環境行動モニタリング **改善**

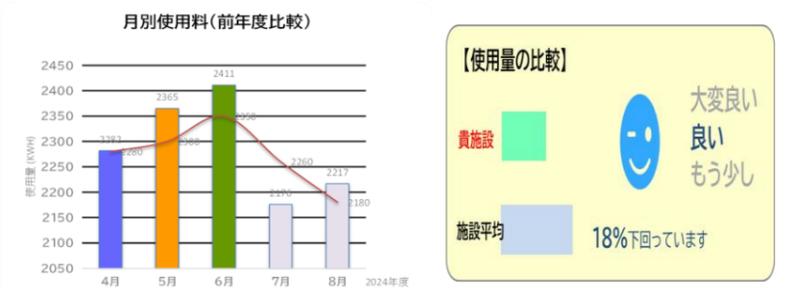
- ・従来の法規制適合審査を中心とした内部監査から、各課の主体的な環境改善活動を発掘し、横展開する仕組みへ改善する。
- ・組織全体の環境パフォーマンス向上のため、事務局が一元管理する。
- ・エネルギー最適化を推進するため、エネルギー管理施設は、原則として実地確認とする。

EMS目標達成シート / エコレポート

新規

主体的な環境改善活動の推進

- ・各課・施設は、「EMS目標達成シート」に基づき、区全体の環境目標の達成に寄与する取組を設定・実施し、継続的改善を図る。
- ・事務局による支援体制を強化し、エネルギー使用量を可視化した「エコレポート」を作成・配布する。



エコレポートのイメージ図

区全体の環境目標達成への貢献

各課・施設の環境意識と主体性が向上し、可視化されたデータに基づく改善行動により、区全体の環境目標達成とエネルギー削減が促進される。

組織全体での環境改善活動の底上げ

取組の成果や課題を可視化し、良い取組や工夫を庁内で共有・横展開することで、組織全体の環境改善活動を推進し、各課・施設における取組の改善を図る。